

日ごとに暖かくなってきました。子どもと一緒に春を探してみませんか？

3月3日はひなまつり (桃の節句)



ひな人形を飾るのはなぜ？

ひな人形には生まれた子どもが健やかで優しく育つようにとの親の願いがこめられています。桃の花や菱餅、白酒、ひなあられなども一緒に飾ります。「桃の節句」という名で親しまれています。

♪ —♪ うれしい ひなまつり♪ —♪

- ① あかりをつけましょぼんぼりに
お花をあげましょ桃の花
5人ばやしの笛太鼓
今日は楽しいひなまつり
- ② おだいりさまとおひなさま
2人並んですまし顔
お嫁にいらした姉さまに
よく似たかんじよの白い顔
- ③ 金のびょうぶにうつるひを
かすかに揺する春の風
少し白酒めされたか
赤いお顔のうだいじん

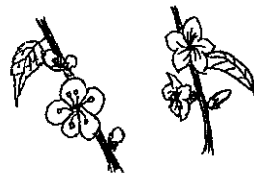
お散歩に出発！

～五感をたっぷり使って～



春の雨にぬれて、草木は目を覚まします。そして、春の暖かい風が通り抜けると、土や葉に隠れていた虫たちが出てきます。

*春一番に出てくる
ふきのとうは、
てんぷらにして
食べられます。



*梅や桃の木も白色や
ピンク色の花をつけ、
とてもいいにおいが
します。

*野原に生えるのびるは、
ニラやネギに似ています。
球根部分を洗ってみそを
つけ、生のまま食べられ
ます。



*つくしは節(はかま)が
いっぱいあります。
「何個あるかな？」と
数えても楽しいです。
炒めて食べると
おいしいです。

*てんとうむしは、草むらで
冬眠しています。指に登らせて
みると、指の向きを変えても
上へ上へと登っていきます。



子どもの好きな虫の絵本。
心を通わせて
楽しんでみませんか？

得田之久作 童心社

もしさんどこいくの？



てんとうむしやありが
でてきて「どこいく
の？」。お話ししてい
たり、ピスケットを見つ
けて運んでいたりと繰
返しのリズムがあっ
て楽しいですよ。

*土の穴から出てくるのはあり。顔を出し、ひげで辺りの様子をうかがっています。それから、えさを探しに出かけます。えさは、花のみつです。たんぽぽの中にもぐりこんで、お腹いっぱいすっているかもしれません。



*鳥たちの声にも耳をすませてみてくだ
さい。春の訪れを告げるウグイス。「ホ
ーホケキキョ」はオスの求愛のさえずり
です。

